

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TOTOFULL		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 4日		～ 2025年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2025年 3月 24日		～ 2025年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育のため、子ども一人ひとりにあわせたプログラムを作成し、実施することが出来る。	子どものその時その時の発達段階や情緒、興味関心にあわせてプログラムや教材を作成し、指導を行っている。	職員の知識やスキル向上の為、研修や自己学習の機会を増やす。
2	保護者同伴での療育のため、保護者と連携し、その子どもにとってより良い支援を考えていく事が出来る。	保護者と子どもの様子や成長を共有しあい、悩みに寄り添い、喜びを感じ合えるよう、毎指導、保護者とのコミュニケーションの機会を大切にしている。	ご家族にとって、より安心できる関係性を築く事が出来るよう、落ち着くことが出来る環境作りや更に信頼関係構築に努める。
3	他職種が多角的な視点で子どもを見立て、プログラムを作成することが出来る。	毎指導ごとに、その日出勤の職員全員でプログラムの内容を確認している。 より質の高い療育を実施出来る様、異なる職種の職員が知識やアイデアを出し合っている。	出勤の曜日の異なる職員同士が直接会って情報共有をしたり、知識を共有し会える機会を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のため、集団での姿が見えにくいことがある。		保育園や幼稚園等と連携を行い、集団での様子を確認する。 状況に応じて複数指導を通して、他児のいる環境での姿も確認する。
2	行事やイベント等を実施することが難しい。	利用日が固定されている事。 施設全体の利用者が多く、年齢や発達段階が様々なため、それぞれにあった内容のプログラムやイベントを実施することが難しい。	ニーズに分け、少人数でのイベント活動の実施を検討する。
3			